

身近に使われている私たちの税金

豊岡中学校 三年 深澤 若葉

私が「税金」と聞いて思いつくのは消費税くらいだった。普段、税金に触れる機会が無かったので、私はこの作文を書くにあたり、税金のことについて調べてみた。

例えば、学校に関する費用、福祉に関する費用、医療に関する費用など、私たちが生活する様々な分野で、様々な形で使われていることが分かった。

通学路で街路樹の剪定作業を見たことがある。

「通学路の剪定の費用も税金から出ているんだよ。」

と父が教えてくれた。私は小学校五年生の夏休み、「私の街の街路樹」という自由研究のテーマで、入間市の街路樹について調べたことがあったので、興味を持った。私の街には、街路樹が至る所であり、ケヤキ、クスノキ、イチヨウ、桜、ポプラ、プラタナスなど、たくさん種類の街路樹が植えられている。私の通学路にも、何百本ものケヤキが並んでいる。それらを市が税金を使って植栽、管理をしていると知り、とても驚いた。

街路樹は、景観に彩りを与えるだけでなく、夏の陽射しを和らげたり、CO₂を吸収することで、地球温暖化防止にも役立っている。もし街路樹に税金が使われなくなったら、季節感が感じられなくなったり、街に統一感がなくなってしまうだろう。また、枝が伸び

すぎて景観を悪くしたり、事故に繋がりがねない。自然と共生する私たちにあって、街路樹に税金を使うというのは、とても大切なことなのだと分かった。

しかし、ふと思った。街路樹にかかる税金は医療費や福祉費に使ったほうがいいのではないか。毎年、この二つは県の歳出の半分近くを占めているので、その分足りない、ということもあるのではないだろうか。今回税金について調べてみて、税金の重要性に気づいたからこそ、感じたことだ。私が感じたように、人によっては税金を別のことに使えばいいと思う人もいるだろう。税金の使い方の正しい、正しくない、という考え方は人それぞれで、どれかひとつを決めるとするのは難しいことだと思う。だからこそ、私たちはもっと税金に興味をもち、意見交換を活発にしていくべきだと思った。

国民の生活を豊かにしてくれる税金。私たちは、税金をもっと身近な存在にする必要がある。「私たちによって支えられて、私たちのために使われている」という意識をもって、これからも税金について考えていきたい。